



研究主題



研究の経過

- ①全体会での話し合いから、三小の子たちに足りない力として「学習内容や学習のねらいについて深く考える『思考力』」と、「自分の考えを分かりやすく伝える『表現力』」の2つが見えてきました。
- ②児童が思考したことは、第三者は「思考」そのものだけをみとることはできず、思考したことはその児童なりの「表現」を介して伝わるものであるから、思考力と表現力を切り離して考えることはできない。（学習指導要領でも、新たに求められている資質・能力の1つとして「思考力・判断力・表現力」は一体として示されている。）
- ③思考したことを表現する際に、タブレット端末などのICT機器を活用することは児童の考えを表現する可能性を広げる一つの手段であり、ICT機器を活用した様々な表現方法を学ぶことで紙媒体で表現することの良さもまた見えてくる。
- ④ICT機器や紙媒体のみならず、目的や自分の意図したことを適切に表現する手段を多様にもっていることは、今後の社会に出ていくうえでも大切な力の一つと言える。

※本校では、この「目的や自分の意図したことを適切に表現する手段を、多様にもっている」児童の状態を、表現力が「豊か」と捉えることにした。

- ⑤以上のことから、研究主題「思考したことを豊かに表現する児童の育成 ~ICT機器の効果的な活用を通して~」を設定した。
- ⑥研究主題を達成するため、「児童の思考を深める手立て」「表現を豊かにする手立て」の2つを全校共通の柱として、計13本の実践検証に取り組んだ。また、児童のICT操作スキル向上も目指して朝のTTT（タブレット・ティーチング・タイム）の設定と、どの学年でどのようなコンテンツを学び、スキルを習得していくかを横断的に配したスキルシートの作成も同時に行った。

成果と課題

成果

考えの共有・交流の増加 学習意欲の向上

リアルタイムでの共同編集の実現

思考(判断)する場面と表現する場面の存在

課題

デジタルとアナログのバランス

教科のねらいとの整合性



	思考を深める手立て	表現を豊かにする手立て
場面を作り出す	<ul style="list-style-type: none">①漢字パズル (3年国語、松田実践)②撮影動画をもとにアドバイス※ (4年体育、林実践)	<ul style="list-style-type: none">①おすすめの本紹介※ (3年国語、岡本実践)②おもちゃの作り方紹介※ (2年生活、中島実践)③写真撮影 (2年生活、水流実践)
方法を示す	<ul style="list-style-type: none">①ポートフォリオでの情報蓄積※ (すずかけ総合、山中実践)②思考ツール (5年社会、中島実践)	<ul style="list-style-type: none">①共同閲覧共同編集 (6年国語、竹内実践) ※②動画撮影(すずかけ総合、福樹実践)③プレゼン作成 (6年外国語、澤登実践)④写真撮影 (1年図工、豊田実践) ※⑤ニュース動画作成 (5年総合、本田実践) ※⑥Wordによる文書作成 (4年国語、松澤実践)



今年度の取組

実践による検証

成果物の作成

研究発表会

上半期（4月～10月）における各分科会での話題提案授業による実践から、手立ての効果や児童の変容を検証する。

3年におよぶ研究の成果となるものを明らかにし、研究の価値を広く市内や都内の先生方と共有する。

研究のまとめとして、1月に全学級による授業公開を行う。

年間スケジュール

R5研究発表会までのスケジュール(概要)



R5 研究に関わる年間スケジュール(詳細)

三部会	4月3日	4月6日		5月1日			7月3日	7月21日	8月29日	
	メンバー顔合わせ		分科会 ・顔合わせ ・内容検討 ・A授業者 決定					1学期ふり返り	夏休み作業進捗確認	
	研究経過おさらい	分科会の取組共有			提案授業の進め方				・分科会から 発表会詳細案検討	発表会詳細案検討
	研究内容の共有	TTTの取組周知			アンケート分析				・学校全体で 夏季休業中の内容 ・プレ発表準備	配布物作成
	今年度の予定確認	アンケート提案								
	研推内分担の周知	研推内での分担決定								
研究全体会 (授業含む)		4月7日	全校 アンケート 実施	4月26日	5月31日	6月16日	6月28日	7月14日	8月31日	
				話題提案授業①	話題提案授業②	和田提案授業③	話題提案授業④			
	研究経過おさらい		分科会の手立て共有	提案授業	提案授業	提案授業	提案授業		発表会	
	主題と方向性提案		授業予定確認	協議	協議	協議	協議		発表会詳細案提案	
	分科会案の提案		分科会検討	指導・講評	指導・講評	指導・講評	指導・講評		プレ発表提案	
	今年度の組織編制								配布物作成案提案	
	年間予定の確認									

R5 研究に関わる年間スケジュール(詳細)

三部会				10月25日	12月13日	1月5日			3月13日		
				アンケート②分析							
				配布物確認							
研究全体会 (授業含む)	9月6日	9月20日	10月4日	10月10日	11月22日	12月21日	1月10日	1月19日	1月23日	1月25日	3月6日
	話題提案授業①	話題提案授業②	研究発表会 プレ発表	話題提案授業③	アンケート実施		発表準備	発表会作業日	研究発表会 リハーサル	研究発表会	研究のまとめ
	提案授業	提案授業	分科会発表共有	提案授業				・分担の進捗確認	・時程と動き確認	・基調提案	・継続事項
	協議	協議	・相互の関連性	協議				・分担の進捗確認	・基調提案リハ	・全学級授業公開	・次年度の研究
	指導・講評	指導・講評		指導・講評				・掲示物確認	・分科会提案リハ	・分科会提案	
								・分担最終確認	・分科会最終確認	・分科会最終確認	
								市教委チェック?	市教委チェック?	・シンポジウム	

校内研究日程(予定)

5/31	6/16	6/28	7/14	9/6	9/20	10/4
(水)	(金)	(水)	(金)	(水)	(水)	(水)

→分科会内で、A授業(講師の先生がいらっしやる ver.)での授業者を**4月14日(金)**までに決めてください。なお、講師の先生のご都合によって、日程の多少の変更があります。(月曜 or 火曜になる可能性が高いです)

実践による検証

1. 研究分科会のもち方

	思考を深める手立て	表現を豊かにする手立て
場面を作り出す	A 分科会 児童が思考する場面を創り出す手立て ・ ・	C 分科会 児童が考えを表現する場面を創り出す手立て ・ ・
	①漢字パズル(3年国語、松田実践) ②撮影動画でアドバイス※(4年体育、林実践)	①おすすめの本紹介※(3年国語、岡本実践) ②おもちゃの作り方紹介※(2年生活、中島実践) ③写真撮影(2年生活、水流実践)
方法を示す	B 分科会 児童が思考する方法を示す/思考方法を活用させる手立て ・ ・	D 分科会 児童が考えを表現する方法を示す/表し方を考えさせる手立て ・ ・
	①ポートフォリオでの情報蓄積※ (すずかけ総合、山中実践) ②思考ツール(5年社会、中島実践)	①共同閲覧共同編集(6年国語、竹内実践)※ ②動画撮影(すずかけ総合、福柵実践) ③プレゼン作成(6年外国語、澤登実践) ④写真撮影(1年図工、豊田実践)※ ⑤ニュース動画作成(5年総合、本田実践)※ ⑥Wordによる文書作成(4年国語、松澤実践)

全教員が上記の A 分科会～D 分科会のいずれかに所属し、研究に参加する。基本的に、それぞれ自分が参加したい分科会でメンバーを構成することにする。(どうしても圧倒的に偏りが生じた場合は個別に相談させていただく場合もあります。すみません。)

重ねてになりますが、**4月14日(金)**までに、世話人の先生を中心に分科会の時間をとっていただき、**A授業を含めた年間の実践予定(B授業)**を決めてください。

※現状、分科会の日程が行事予定に組まれていない。最低月2回のペースで予定に入れていただくよう教務にお願いしておきます。また必要に応じて、分科会の世話人を中心に自主的に分科会を設定して推進していく。

2. 話題提案授業のもち方

- ① 「研究授業」ではなく、「参観者が学ぶために授業者が話題を提案する授業」という意識で行えるようにしたい。「どこがよくなかった。もっとこうすればよい」ではなく、「自分だったらこうやってみようかな」という視点で協議する意識を高める。
- ① 今年度も ICT を活用した授業改善という点から、特定の教科で授業を行うということはしない。話題提案授業の教科は各分科会で検討し、提案する。
- ② 各分科会から1回ずつで**年間4回の話題提案授業(A授業・講師あり)**と、**特に回数指定をせず、授業時間内で行う話題提案授業(B授業・講師なし)**を行う。B授業は放課後に録画したビデオをもとに校内教職員で協議会を行う。

成果物の作成

1. 研究紀要

1年間の校内研究の取組の詳細（理論と実践）が分かるものになるようにする。1/25の研究発表日ではなく、年度末での完成・関係各所への配布とする。

2. リーフレット（研究発表用）

研究の大まかな概要が分かるリーフレット（A3版裏表サイズ）。研究発表会で配布する。参会者が開いて内容がサッとつかめるように大切な部分をピックアップし、紙面の構成も考えて作成する。

3. 研究発表会当日の指導案集 ※QRコード生成

発表会当日の指導案集。研推から提案する様式に則って全校共通の枠組みで作成する。研究発表会で配布。本時案を中心に、特記事項は校内研究に関わるものに絞ってシンプルで見やすいものになるようにする。

4. ICTまるわかりブック（仮題） ※QRコード生成

ICTの研究3年間の実践を取りまとめた冊子を作成する。一実践でA4サイズに1ページ（様式は研推より提案。昨年度までの実践のうち、本校在籍の先生には思い出しながら作っていただき、移動された先生の実践は研究主任が作成→本人に確認し完成、という形で取りまとめる。計20実践+αは掲載する予定。研究発表会で配布する。

5. TTTスキル系統シート（仮題） ※QRコード生成

ICTに関わる児童の活用スキルを1年～6年まで系統的にまとめたシートを作成する。昨年度までにできているものに他校のものも参考にした形で作成し、今年度の取組をフィードバックして加除修正を行う。研究発表会で配布する。

研究発表会

1. 概要

東久留米市立第三小学校 令和5年度 東久留米市教育委員会 研究推進校

研究発表会実施案 [概要版] Ver.1.0

研究主題

思考したことを豊かに表現する児童の育成 ～ICT 機器の効果的な活用を通して～

1. 研究発表会の目的 「目の前の子供達 × 参加する他校の先生方 × わたしたち三小の教員」それぞれに意味のある発表会に！

- ① 校内研究として3年間取り組んできた成果の一つとして、児童の思考力・表現力向上のために ICT 機器の活用が効果的であることを示す。(研究の有用性)
- ② 各教科・領域の学習において ICT 機器を取り入れることが実は簡単かつシンプルに行えるものであり、誰にでも手軽に活用できるものであることを示す。(研究の汎用性)
- ③ ICT 機器を活用することで参観者自身の考えがアウトプットしやすくなり、双方向での意見交流をする機会を増やすことにつながることを示す。(研究の応用性)

2. 日時・会場

- ① 日時 令和6年1月25日(木) 13:30～16:30 (受付開始: 13:00)
- ② 会場 授業会場および分科会会場: 各教室
全体会会場: 体育館

3. 当日の日程

13:00	受付開始	・受付後、体育館へ誘導 ・スクリーンに発表会全体の予定を表示	参加者に事前アンケートを配付し、QR コードから ICT 活用に関わる日頃の興味を集約。
13:30	全体会Ⅰ	・開会行事 ・基調提案 (研究主任、研究副主任)	授業前に研究の概要を説明し、参観者が授業を見る視点をもって臨めるようにする。
13:50	授業公開	・全学級授業公開	ICT を活用している、もしくは ICT を含めた表現方法を選択・判断している本時を公開。
14:45	提案	・分科会ごとに各教室で提案 ・参加者が意見を言え、交流できる場に	提案は手立てとその効果を中心に言い、参加者が小グループ等で意見交流ができるようにする。
15:45	全体会Ⅱ	・シンポジウム (石出先生、ほか) 「ICTを活用した令和型授業デザインの創造」(仮)	公開授業を材料に、テキストマイニングを活用して参観者の関心と関連付けながら。
16:30			

4. 当日までの年間スケジュール ※拡大版は別紙

※詳細は
3 ページ参照

1 学期～夏休みにかけては理論の構築と分科会ごとの実践に基づく検証と成果物のストックを中心に行う。

2 学期は、ストックした成果物の作成や掲示、渉外といった発表当日に向けた実務的な作業にも取り掛かる。

2. 作業部会のもち方

全教員が上記の作業部会(環境部会・渉外推進部会・研修部会)のいずれかに所属し、研究内容の充実を図る取組や、研究発表会に向けた諸準備を行う。

※現状、作業部会の日程が行事予定に組み込まれていないので教務と相談して設定する。

作業部会				
研究内容の充実を図る取組や、研究発表会に向けた諸準備を行う。				
環境部会	渉外推進部会	研修部会	紀要部会	プレゼン部会
学習環境の周知・校内掲示板や教室内掲示提案と管理 ①クラス内の「校内研☆コーナー」の計画・提案・推進 ②西側昇降口掲示板の校内研コーナー(全校版・分科会ごとに区分け)と計画提案・推進 ③研究発表前の教室前廊下掲示の計画提案・推進	保護者や地域等外部と連携した取組の計画と実施・発信 ①講師の先生(石出先生など)との連絡・調整 ②保護者向け校内研究通信の計画提案・発行 ・タブレット活用の様子を紹介 ・話題提案授業の報告	教員研修(ICT関係を含む)やOJT研修の計画と実施 ①校内研に関わる研修計画の提案・推進 ・発表ノートの使い方Q&A ・夏休みに石出先生の大学にみんなで行って授業受けてみる ②ミニ研修会の計画提案・推進 ・全教員参加型の研修 ・会議の裏で行う参加型の研修	今年度の研究のとりまとめとして研究紀要の作成 ①作成のスケジュールと計画提案 ②作成の進捗管理 ③印刷業者との製本スケジュールの確認	研究発表会に向けた基調提案と分科会提案のとりまとめ ①プレゼン作成の計画作成と提案 ②作成の進捗管理 ③プレ発表会(9月～10月予定)の計画提案 ④基調提案と分科会提案の整合性の検討

最後に・・・

**何でも相談
しょうもない質問はない**

**いつでもだれでも
オープンな授業公開**

**子供や授業の話で
あふれる職員室に**

先生方には、1年間お世話になります。毎日様々な仕事を抱えて忙しい最中、まして子供たちや私たちの成長をすぐには実感しにくい校内研究という取り組みに対して御協力いただくことに、感謝の気持ちでいっぱいです。校内研究は主任私1人でやっていくことはできません。先生方と一緒に取り組んでいかないと、きっと研究そのものもぼんやりとしたまま1年間が経過していく気がしています。どうか1年間、力をお貸しください。来年3月に研究が終わった時、子供たちも、そして先生方も「やってよかった！」という気持ちになれるようがんばっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。